

平成 30 年度 事業計画及び収支予算書

予算総会

開催日 平成 30 年 3 月 3 日 (土)
時 間 正午～14 時 30 分
場 所 北とぴあ 16 階「天覧の間」

〒114-8503

東京都北区王子 1-11-1

公益社団法人 自彊術普及会

〒114-0015 東京都北区中里 2 丁目 14-1

電 話 03-3940-6696

F A X 03-6903-5540

平成 30 年度予算総会 次 第

- 1 開会の挨拶
- 2 議決権の確認
- 3 会長挨拶
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人選出
- 6 議事
 - 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画の承認
 - 第 2 号議案 平成 30 年度収支予算書等の承認
 - ・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
- 7 閉会の挨拶

平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

公益社団法人自彊術普及会

I 事業の内容

公1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

- (1) 全国5総支部及び61支部の指導管理の下、本部直轄の講習会、公的機関・各種カルチャーセンターの要請による受託講習会、有資格者主宰の講習会など、全国各地で約4,800の教場が常設され、普及活動が実施される。
- (2) ボランティア活動の実施
介護施設や身障者施設へのボランティア活動も各支部で行う。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承するために、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保するために、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(『指導者資格・称号の授与等に関する規程』第5条)

- ① 熱川研修会(全国の各支部の中核となる指導者をを目指す人を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する)

第103回 平成30年4月13日～15日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

第104回 平成30年6月22日～24日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

第105回 平成30年10月19日～21日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

- ② シニア熱川研修会(68歳以上の、指導者をを目指す人を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する)

第12回 平成30年10月17日～19日

指導者 師範3名・準師範2名・奥伝4名

受講対象者 68歳以上の指導者をを目指す者 計120名

高齢者であって、現場で指導にあたっている人と、これから指導者として活躍したい人を対象とした研修会を実施する。参加希望者が多く好評である。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年10回を1タームとする基準をもって実施する。

総支部名	実施会場
本部	本部道場
東北総支部	福島市置賜町 置賜会館
神奈川県総支部	本部道場
中部総支部	名古屋市 アイリス愛知
関西総支部	吹田市 さんくすホール
九州・中国総支部	福岡市 警固神社
九州・中国総支部	北九州市 菅原神社

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施する。

実施日程	実施支部	会場	実施日程	実施支部	会場
4月24日・25日	春日部・越谷・春日部北支部合同	本部道場	6月30日・7月1日	兵庫県支部	シーパル須磨
5月15日・16日	千葉県・練馬・むさし野支部合同	本部道場	7月3日・4日	千葉県柏支部	本部道場
5月22日・23日	立川朝日・春日部南支部合同	本部道場	7月7日・8日	北海道支部(札幌支部)	札幌全日空ホテル
5月23日・24日	豊橋支部	呉竹荘	7月24日・25日	大宮支部	本部道場
5月25日・26日	立川・甲府支部合同	ブリジストン奥多摩園	9月1日・2日	九州・中国総支部合同	警固神社
5月26日・27日	大阪府支部	パナソニックリゾート大阪	9月4日・5日	神奈川県総支部合同	本部道場
5月28日・29日	名古屋中支部	アイリス愛知	9月25日・26日	板橋・小平支部合同	本部道場
6月2日・3日	名古屋支部	アイリス愛知	9月29日・30日	京都府・奈良県支部合同	京都東寺内洛南会館
6月2日・3日	静岡県支部	静岡県職員会館 もくせい会館	10月2日・3日	川越・熊谷・新宿朝日・所沢・東松山支部合同	本部道場
6月2日・3日	わかやま県・大阪東支部合同	パナソニックリゾート大阪	10月2日・3日	豊川支部	豊川市民プラザ
6月3日・4日	東北総支部合同	茨城県立国民宿舎鶴の岬	10月3日・4日	富士北麓支部	西桂町まちづくり交流センターきずな未来館
6月5日・6日	千葉県成田支部	本部道場	10月27日・28日	滋賀県・京都洛中支部合同	御所西京都平安ホテル
6月9日・10日	東京北支部	本部道場	1月26日・27日	沖縄支部	ユイinchホテル南城
6月26日・27日	千葉県稲毛・千葉県流山・大宮南支部合同	本部道場			

(2) 上級指導者研修会 (『指導者資格・称号の授与等に関する規程』第6条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を養成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認及びその統一を主眼に置く研修をする。)
秋田県男鹿半島：平成 30 年 11 月
- ② 奥伝研修会
 - (i)選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約 30 名は本部が選出する。)
本部道場：平成 30 年 4 月 10 日、10 月 16 日、平成 31 年 1 月 22 日
 - (ii)奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)
秋田県男鹿半島：平成 30 年 11 月
- ③ 支部長研修会
本部道場：平成 30 年 4 月 10 日、10 月 16 日、平成 31 年 1 月 22 日

(3) 資格・称号の授与 (定款第 4 条第 1 項 (2))

- 初伝 4 月・7 月・10 月・平成 31 年 1 月
中伝 8 月
奥伝 6 月

公 2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操実践者に対し、各種アンケート及び体力測定などの追跡調査を実施する。また、本部道場講習会の受講生を対象に、自彊術実施前後の酸素飽和度の変化を「パルスオキシメーター」により調査し、将来大学医学部研究室への資料提供により、自彊術の有効性を実証することを目的とする。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第 4 条第 1 項(3))

① 機関紙『自彊の友』の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者達の体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

② リーフレットの配布

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。

③ 「自彊術の葉」の配布

葉には、「カリキュラム」、「自彊術の心得」とともに、(公社)自彊術普及会への入会に必要な事項が記載されている。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図る。
役職員相互間の業務執行状況についての情報共有化により、業務の効率化及び管理体制を強化するためのシステムを導入する。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月に講演会を実施する。
石原新菜 先生(イシハラクリニック副院長)

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

40周年 名古屋中支部・福岡支部・北九州支部

30周年 神奈川南支部

20周年 練馬支部・むさし野支部

10周年 所沢支部

6. 海外文化交流事業の実施(定款第4条第1項(4))

ヨーロッパ、東アジアをはじめとする世界の不隠な情勢をふまえて、指導者の派遣などの積極的な海外文化交流事業は下記(1)(2)を除き当分控える。

(1)ワシントン教室

中伝資格取得のため、研修会参加者5~6名の来日が予定されている。

(2)台湾教室

月1回の講師派遣を予定している。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて、自彊術の技術的・精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学出来る。(要予約)
- ・入館料は無料。

II その他

1. 会議(定款第3章以下および4章以下)

- | | | |
|--------|------|------------|
| (1) 総会 | 決算総会 | 平成30年6月20日 |
| | 予算総会 | 平成31年3月 |

(2) 理事会 決算理事会 平成 30 年 5 月 25 日

予算理事会 平成 31 年 2 月

(3) 各支部主催教室長会議 随時開催

各支部内のさまざまな問題の検討・調整・決定を行う。

<付 記>

元会長医学博士近藤芳朗が法人設立の精神の一つとして「各人の能力に応じた、医学的解析を経た適切な運動を実施することが、究極の予防医学の大きな柱となり、健康で豊かな一生・豊かな社会の実現に資することになる」と常々説いていたことを忘れてはならない。この精神を踏まえ、広く社会に貢献する自彊術普及会会員の自覚をもって、平成 30 年度の事業計画を全会員が協力して推進したいものとする。

平成30年度 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
基本財産受取利息	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	16,000	16,000	0	16,000
特定資産受取利息	0	0	16,000	16,000	0	16,000
③受取会費	0	0	89,355,000	89,355,000	89,355,000	178,710,000
正会員受取会費	0	0	3,405,000	3,405,000	3,405,000	6,810,000
賛助会員受取会費	0	0	85,950,000	85,950,000	85,950,000	171,900,000
④事業収益	104,354,000	0	0	104,354,000	0	104,354,000
講習会等実施事業収益	11,999,000	0	0	11,999,000	0	11,999,000
指導者養成事業収益	73,666,000	0	0	73,666,000	0	73,666,000
資格等授与事業収益	18,689,000	0	0	18,689,000	0	18,689,000
⑤受取寄付金	0	0	520,000	520,000	0	520,000
受取寄付金	0	0	520,000	520,000	0	520,000
⑥雑収益	0	0	0	0	9,827,000	9,827,000
総会・懇親会会費	0	0	0	0	9,827,000	9,827,000
受取利息	0	0	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0	0	0
経常収益計	104,354,000	0	90,011,000	194,365,000	99,182,000	293,547,000
(2) 経常費用						
①事業費	142,592,000	64,969,000	0	207,561,000	0	207,561,000
役員報酬	16,070,000	6,702,000		22,772,000		22,772,000
給料手当	20,463,000	4,411,000		24,874,000		24,874,000
臨時雇賃金	5,679,000	100,000		5,779,000		5,779,000
報酬謝金	27,556,000	480,000		28,036,000		28,036,000
役員退職慰労引当金繰入額	0	0		0		0
退職給付費用	140,000	16,000		156,000		156,000
退職給付金	300,000	0		300,000		300,000
法定福利費	2,801,000	818,000		3,619,000		3,619,000
会議費	7,458,000	596,000		8,054,000		8,054,000
会場費	0	730,000		730,000		730,000
研修会場費	22,122,000	110,000		22,232,000		22,232,000
旅費交通費	13,684,000	3,529,000		17,213,000		17,213,000
通信運搬費	2,460,000	6,650,000		9,110,000		9,110,000
減価償却費	5,591,000	1,374,000		6,965,000		6,965,000
什器備品費	0	500,000		500,000		500,000
消耗品費	3,178,000	471,000		3,649,000		3,649,000
修繕費	2,002,000	0		2,002,000		2,002,000
印刷製本費	1,453,000	9,269,000		10,722,000		10,722,000

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
渉外費	468,000	131,000		599,000		599,000
光熱水料費	1,046,000	177,000		1,223,000		1,223,000
リース料	139,000	46,000		185,000		185,000
保険料	288,000	162,000		450,000		450,000
諸謝金	40,000	1,843,000		1,883,000		1,883,000
租税公課	1,701,000	339,000		2,040,000		2,040,000
インターネット費	0	887,000		887,000		887,000
支払手数料	241,000	20,000		261,000		261,000
委託費	5,268,000	32,000		5,300,000		5,300,000
事務委託費	1,731,000	25,320,000		27,051,000		27,051,000
雑費	713,000	256,000		969,000		969,000
②管理費	0	0	0	0	48,279,000	48,279,000
役員報酬					7,958,000	7,958,000
給料手当					6,335,000	6,335,000
役員退職慰労引当金繰入額					0	0
退職給付費用					87,000	87,000
法定福利費					1,721,000	1,721,000
福利厚生費					503,000	503,000
会議費					9,458,000	9,458,000
会場費					1,440,000	1,440,000
旅費交通費					1,154,000	1,154,000
通勤費					1,117,000	1,117,000
通信運搬費					1,115,000	1,115,000
減価償却費					1,448,000	1,448,000
什器備品費					1,000,000	1,000,000
消耗品費					881,000	881,000
修繕費					157,000	157,000
印刷製本費					450,000	450,000
渉外費					229,000	229,000
光熱水料費					439,000	439,000
リース料					278,000	278,000
保険料					28,000	28,000
諸謝金					40,000	40,000
租税公課					8,879,000	8,879,000
支払寄付金					4,000	4,000
支払手数料					85,000	85,000
委託費					2,860,000	2,860,000
雑費					613,000	613,000
経常費用計	142,592,000	64,969,000	0	207,561,000	48,279,000	255,840,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-38,238,000	-64,969,000	90,011,000	-13,196,000	50,903,000	37,707,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-38,238,000	-64,969,000	90,011,000	-13,196,000	50,903,000	37,707,000
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	13,196,000	13,196,000	-13,196,000	0
当期一般正味財産増減額	-38,238,000	-64,969,000	103,207,000	0	37,707,000	37,707,000
一般正味財産期首残高				509,375,617	288,158,489	797,534,106
一般正味財産期末残高				509,375,617	325,865,489	835,241,106
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額				0	0	0
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
III 正味財産期末残高				539,375,617	325,865,489	865,241,106

事業年度	自 平成30年 4月 1日	法人コード	A004741
	至 平成31年 3月31日	法人名	公益社団法人 自彊術普及会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無の記載、
借入れ予定がある場合はその借入先、金額、用途等

借入先の予定		:	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
事業番号	借入先	金額	使 途	
公 1 普及促進事業				
公 2 普及啓発事業				

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無の記載、
設備投資の予定がある場合にはその内容等

設備投資の予定		:	<input type="checkbox"/> 有り	<input checked="" type="checkbox"/> 無し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額 (単位:円)	資金調達の方法又は 取得資金の使途	
公 1 普及促進事業				
公 2 普及啓発事業				